

余谷21世紀委員会の活動概要（発足以来の活動経過）

1. 発 足

余谷地区は下余・大坪・岡・栗山・上余・小平・滝貞・平原・上納持の9集落（約130戸）で構成。農家戸数は約90戸。地区資源を生かした活性化を図る目的で集落の全戸が参加し、平成12年5月に「余谷21世紀委員会」が発足。

2. 余谷の資源

オオサンショウウオ（国特天）、余温泉、余の滝、両合棚田、両合川橋、ユズ、里山景観等

3. 組織と活動

組織は、役員会（正副会長、会計、委員）と集落区長、認定農業者、女性・青年会代表等で構成されているが、主として役員と集落区長により活動。部会として

- ① 米生産部会……有機減農薬栽培、架け干し 「せせらぎ米」栽培など。
（平成21年から農事組合法人「あまり谷」へ移行し活動）
 - ② 農産加工部会…山菜やイノシシなどを活用した弁当づくり等。（令和5年解散）
 - ③ 山の恵部会……桑苺ジャム、桑の葉茶、桑の葉粉末などの加工。（休部中）
 - ④ 野菜生産部会…野菜栽培で直売所販売やイベント時の提供。（休部中）
- の4部会を構成し、それぞれで栽培販売や加工販売などを行っていたが、高齢化や部会員減少等により現在は活動がされていない。

4. 事 業（これまでの主活動）

- ① 大分大学（教育福祉科学部）…農業体験学習受入れ（年6回、2回は宿泊）
- ② 大分高崎自治区交流…… 夏祭り（7月）・文化祭（11月）に余谷コーナー開設。
余谷収穫祭（11月）に高崎受け入れ
- ③ 焼酎米栽培………純米焼酎「余谷」原料米栽培（九州電力総連やトキハ関係者等の協力参加）
- ④ イベント………大分大学交流コンサート（南院内小学生参加）。大分大学生南院内ふれあい運動会参加。余谷収穫感謝祭、写真コンテスト等実施
- ⑤ 宇佐市指定管理者………「いんない余温泉」、「余谷棚田交流施設」管理。

5. 活動の成果

・地域の連帯、地域愛、新しい出会い、作るよろこびなど、活動の広がりを見た。
平成28年に大分大学交流が終了したので、現在は活動を縮小し大分高崎自治区を中心に、まち協やグレサウなどの諸団体と交流活動を継続。

6. 今後の課題

・高齢化、会員減少、資金不足、交流相手先確保等。

7. これから目指したいもの

- ① 滞在体験交流や観光の受入れ
- ② 余温泉を中心とした新しい事業（余の里の映画会、お楽しみ会など）
- ③ 21世紀委員会活動への新規参加者及び活動仲間